

令和元年度

博士課程後期3年の課程学生募集要項

(令和元年10月進学・編入学)

〔一般選抜(進学)〕

〔一般選抜(編入学)〕

〔社会人特別選抜(編入学)〕

〔外国人留学生等特別選抜(編入学)〕

令和元年5月

東北大学大学院工学研究科

【工学研究科の入学者選抜方針（博士課程後期3年の課程）】

◇アドミッション・ポリシー

工学研究科の教育目的および教育目標に共感し、カリキュラム・ポリシーに掲げられた知識と能力を習得するために必要な、次の学力および能力をもつ人を求めています。

1. 工学に関する幅広い基礎知識、自分の研究分野に関する高度な専門知識とそれらを柔軟に展開する能力
2. 自分の研究の意義と成果を論理的に発表し、討論できる能力

◇教育目的および教育目標

工学研究科は、東北大学の伝統である「研究第一主義」、「門戸開放」、「実学尊重」の理念の下、自然と人間に対する深い知識と広い視野を基本とし、安全安心で豊かな社会の実現のために倫理観と気概をもって自ら考えて研究を遂行し、将来の科学技術の発展と革新を担うことができる豊かな創造性と高い研究能力を有する研究者の養成、並びに高度な専門的知識のみならず長期的な展望や国際的な視野を備え、社会の持続的発展に貢献できる中核的専門技術者の育成を教育目的とする。

後期課程にあつては、社会的・国際的要請を踏まえた俯瞰的視野に立って研究課題を開拓し、独自の発想によってその課題を展開させ、国際水準の論文をまとめて国際学会等で発表かつ討論できる能力を有するとともに、関連の専門分野においても主体的に研究を遂行できるだけでなく、将来とも自己啓発し、リーダーとして世界的に活躍できる人材を育てることを教育目標とする。

◇ディプロマ・ポリシー

東北大学工学研究科では、所定の期間在学し、工学研究科の教育目的及び教育目標に沿って設定された授業科目を履修して、所定の単位以上を修得し、高い倫理観と責任感、そして以下の知識と能力を身につけた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格した学生に対して、博士（工学）の学位を授与する。

1. 社会的要請を踏まえた俯瞰的視野に立って研究課題を開拓し、研究を実践する能力
2. 独自の発想による課題解決能力
3. 他分野に応用できる思考能力
4. 国際学会等で発表するに十分な語学力・論文執筆能力・ディベート力・コミュニケーション能力
5. 研究指導を行う能力
6. 研究またはプロジェクトをマネジメントする基本的能力

◇カリキュラム・ポリシー

東北大学工学研究科では、ディプロマ・ポリシーで示した知識と能力を学生が身につけることができるよう、以下の方針に沿って教育を行う。

1. 社会的・国際的要請を踏まえた俯瞰的視野に立って研究課題を開拓し、研究を実践する能力、その研究課題を独自の発想によって展開し、国際水準の論文として纏めることができる能力、さらにこれらを通じて他分野にも応用展開できる思考能力を育成する。
2. 研究成果を国際学会等で発表かつ討論するに十分な語学力・ディベート力・コミュニケーション能力を育成する。
3. 専門分野において研究指導を行うことができる能力を育成する。

1 募集する専攻及び募集人員

専攻名	募集人員	専攻名	募集人員
機械機能創成専攻	若干名	応用化学専攻	若干名
ファインメカニクス専攻	〃	化学工学専攻	〃
ロボティクス専攻	〃	バイオ工学専攻	〃
航空宇宙工学専攻	〃	金属フロンティア工学専攻	〃
量子エネルギー工学専攻	〃	知能デバイス材料学専攻	〃
電気エネルギーシステム専攻	〃	材料システム工学専攻	〃
通信工学専攻	〃	土木工学専攻	〃
電子工学専攻	〃	都市・建築学専攻	〃
応用物理学専攻	〃	技術社会システム専攻	〃

2 出願資格

- ◎ 一般選抜（進学）に出願できる者は、本学大学院博士課程前期2年の課程、修士課程又は専門職学位課程に在学している者で、令和元年9月に修士の学位又は修士（専門職）の学位を取得見込みの者としします。
- ◎ 一般選抜（編入学）に出願できる者は、上記進学以外の者で、下記の（１）～（８）のいずれかに該当する者としします。
- ◎ 社会人特別選抜（編入学）に出願できる者は、原則として大学等卒業後、技術者・教員・研究者等として、入学時において2年以上勤務経験があり、下記の（１）～（８）のいずれかに該当する者としします。
- ◎ 外国人留学生等特別選抜（編入学）に出願できる者は、外国人留学生及び外国の大学において学校教育を受けた者で、下記の（１）～（８）のいずれかに該当する者としします。

- （１） 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和元年9月までに取得見込みの者
- （２） 外国の大学の大学院において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和元年9月までに取得見込みの者
- （３） 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和元年9月までに取得見込みの者
- （４） 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和元年9月までに授与される見込みの者

- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和元年9月までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、外国の大学院の課程を有する教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の2に規程する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- ① 大学を卒業した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- ② 外国において、学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者

[注1] 出願予定の者のうち、本学に雇用されている者については、事前に工学部・工学研究科教務課大学院教務係へ問い合わせてください。

[注2] 出願者は、入学後の研究計画等について事前に当該専攻（専攻長）へ問い合わせてください。

[注3] 出願資格（7）による出願者は、出願資格について事前に当該専攻（専攻長）へ問い合わせください。なお、その際必要な書類は次のとおりです。

必要書類等	摘 要
研究又は業務に従事した証明書	所属長が発行し、技術者・教員・研究者等として2年以上研究に従事したことを証明するもの。（社印等のあるもの・様式随意）
研究又は業務の要旨	技術者・教員・研究者等として勤務した期間のもの。 （2,000字程度、A4判2ページ）
成績証明書	出身大学の学部長が発行したもの。
その他参考資料	学術論文、特許公報の写しなど。

[注4] 出願資格（8）によって出願しようとする者は、出願資格審査を行いますので、事前に工学部・工学研究科教務課大学院教務係へ問い合わせてください。

3 願 書 受 付

受付期間は、令和元年6月17日（月）から6月27日（木）までとします。

【郵送の場合は、受付期間最終日必着です】

なお、土曜日・日曜日は受付を行いません。

また、受付時間は、9時から16時00分までとします。

（ただし、11時45分から13時までを除きます。）

受付場所（郵送先）：東北大学工学部・工学研究科教務課大学院教務係

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-04

4 出 願 手 続

出願者は、次の書類等を調べて受付期間内に提出してください。

また、提出する証明書は原則として日本語又は英語のものとし、それ以外の言語の場合は各証明書の発行元が証明した和訳又は英訳を添付してください。

上記の取り扱いが困難な場合は、出願前に工学部・工学研究科教務課大学院教務係へ問い合わせてください。

※ 一度提出した出願書類の差替え等は一切認めません。

※ 受付後の出願取下げは認めません。

※ 証明書は原本を提出してください。

（原本のコピー、電子ファイル、電子ファイルからの印刷物等は原本とはみなしません。）

※ 願書等の書類や封筒に記入する際には、黒ペンではっきりと判読できるように記入してください。

（鉛筆書き及び摩擦で文字が消えるペンによる記載は不可）

※ 出願書類に虚偽の申告をした者については、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

[I] 本学大学院博士課程前期2年の課程、修士課程又は専門職学位課程に在籍している学生が、一般選抜（進学）を志願する場合

提出書類等	摘 要
進 学 願 書	本研究科所定の用紙
受 験 票	本研究科所定の用紙
出 願 用 封 筒	本研究科所定の封筒の差出人欄を記入し、提出してください。
受 験 票 送 付 用 封 筒	本研究科所定の封筒に住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手92円分をはってください。

合 否 通 知 用 封 筒	本研究科所定の封筒に住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手 530円分をはってください。
---------------	---

〔注1〕 現在の所属専攻以外の専攻に出願する場合の必要書類は、前記と異なるので、事前に工学部・工学研究科教務課大学院教務係へ問い合わせてください。

〔注2〕 在職のまま入学する者については、前記書類のほか、「受験承諾書（所属長の発行したもので、社印等のあるもの。様式随意。）」を提出してください。

〔Ⅱ〕 〔Ⅰ〕以外の者で、出願資格の（1）～（5）による出願者

提出書類等	摘 要
編 入 学 願 書	本研究科所定の用紙
推 薦 書	本研究科所定の用紙を用い、受入れ予定教員が作成したもの。 （ただし、推薦書を提出できない者は、受入れ予定教員の承諾書）
大 学 院 の 成 績 証 明 書	出身大学院の研究科長が発行するもの。
T O E F L[®] T e s t 又は T O E I C[®] Listening & Reading Test（以下、TOEIC[®]公 開テストと記載） スコアシートの<u>原本</u> 有効となる試験： TOEFL[®] Test PBT, TOEFL iBT[®] Test , TOEIC[®]公開テスト	下記①または②に該当する出願者は提出してください。ただし、応用化学専攻、化学工学専攻、バイオ工学専攻、都市・建築学専攻を志願する者は提出不要です。 ① 一般選抜（編入学）または外国人留学生等特別選抜（編入学）で機械機能創成専攻、ファインメカニクス専攻、ロボティクス専攻、航空宇宙工学専攻、量子エネルギー工学専攻、電気エネルギーシステム専攻、通信工学専攻、電子工学専攻、応用物理学専攻、金属フロンティア工学専攻、知能デバイス材料学専攻、材料システム工学専攻、土木工学専攻、技術社会システム専攻を志願する者 ② 社会人特別選抜（編入学）で金属フロンティア工学専攻、知能デバイス材料学専攻、材料システム工学専攻を志願する者 <u>提出されたスコアシートは返却しません。</u> <u>ただし、TOEFL[®]Test〔受験者用控えスコア票〕に限り、出願時に申し出があれば試験当日返却します。</u> TOEFL[®]Test（公式スコアレポート）を本研究科宛て直接送付する際のコードは「8958」です。 ◆TOEFL[®]Test 及び第239回までの TOEIC[®]公開テストのスコアシートを提出する場合 ・スコアシートを含めたすべての出願書類を、「3 願書受付」に記載の受付期間内に提出してください。 ◆第240回または第241回 TOEIC[®]公開テストのスコアシートを提出する場合 ・スコアシートを除いたその他の出願書類を、「3 願書受付」に記載の受付期間内に提出してください。 ・スコアシートは、<u>7月31日（水）【必着】までに「3 願書受付」に記載の受付場所に提出</u>してください（土曜日・日曜日及び祝祭日は受付を行いません）。郵送により提出する場合は、任意の封筒に朱書きで「スコアシート在中」とし、送付してください。提出の際は、スコアシートの裏面に願した系・専攻を記入してください。

	注 一度提出したスコアシートの差替え等は一切認めません。 例) 第239回 TOEIC®公開テストのスコアシートを提出後、第240回または第241回 TOEIC®公開テストなど別のスコアシートを再提出することはできません。 注 願書受付期間外に提出できるスコアシートは、第240回または第241回 TOEIC®公開テストのスコアシートに限ります。 例) 第239回までの TOEIC® 公開テストのスコアシートや TOEFL®Test のスコアシートを「3 願書受付」に記載の受付期間外に提出することはできません。 <u>*受入予定教員の理由書（様式任意）をもって、スコアシートの提出免除、または願書受付期間外の第239回までの TOEIC®公開テストのスコアシート提出が認められる場合があります。</u> ※TOEFL, TOEFL iBT, TOEFL ITP および TOEIC はエデュケーション・テスト・サービス (ETS) の登録商標です。
修了（見込）証明書又は学位授与（見込）証明書	出身大学院の研究科長又は大学改革支援・学位授与機構が発行するもの。
学 部 の 成 績 証 明 書	出身大学の学部長が発行するもの。
修 士 論 文 副 本	修士論文副本を提出できない者は研究の要旨（2, 000字程度、A4判2ページ）
写 真 票 ・ 受 験 票	上半身無帽像で3か月以内に撮影した写真を写真票に貼ってください。
受 験 言 語 選 択 票	機械機能創成専攻，ファインメカニクス専攻，ロボティクス専攻，航空宇宙工学専攻，量子エネルギー工学専攻の志願者で外国人留学生等特別選抜（編入学）に志願する外国籍の方のみ提出してください。
検 定 料	30, 000円（郵送の場合は，郵便局にて普通為替証書にし，指定受取人欄等は記入しないでください。） *災害の被災者に対する入学検定料の免除については，次のウェブサイトをご参照ください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/disaster.html *国費外国人留学生及び入学検定料免除申請者は納付不要です。
検 定 料 領 収 書	本研究科所定の用紙（2枚とも出願者氏名を記入してください。） *国費外国人留学生及び入学検定料免除申請者は提出不要です。
出 願 用 封 筒	本研究科所定の封筒の差出人欄を記入し，提出してください。
受 験 票 送 付 用 封 筒	本研究科所定の封筒に住所，氏名，郵便番号を明記し，郵便切手92円分を貼ってください。
合 否 通 知 用 封 筒	本研究科所定の封筒に住所，氏名，郵便番号を明記し，郵便切手530円分を貼ってください。

〔注〕 一般選抜（編入学）志願者で，在職のまま編入学する者は，前記書類のほか，「受験承諾書（所属長の発行したもので，社印等のあるもの。様式随意。）」を提出してください。

社会人特別選抜（編入学）志願者及び外国人留学生等特別選抜（編入学）志願者は，前記書類のほか，それぞれ次の書類を提出してください。

◎ 社会人特別選抜（編入学）志願者

提出書類等	摘 要
在 職 証 明 書	在職期間、職務内容、身分を記載し、所属長の発行したもの。 （社印等のあるもの・様式随意） 在職のまま編入学する者は不要。
受 験 承 諾 書	在職期間、職務内容、身分を記載し、所属長の発行したもの。 （社印等のあるもの・様式随意） ただし、在職のまま編入学する者に限ります。

◎ 外国人留学生等特別選抜（編入学）志願者

提出書類等	摘 要
推 薦 書	出身大学院若しくは大学の指導教員又はそれに準ずる者が作成したもの。（様式随意）
日 本 語 能 力 証 明 書	日本語教員・指導（予定）教員等が作成したもの。（様式随意）
受 験 承 諾 書	所属長の発行したもの。（社印等のあるもの・様式随意） ただし、在職（国内外問わず）のまま編入学する者に限ります。
そ の 他 参 考 資 料	学力を表す論文・報告書など。

〔Ⅲ〕 出願資格の（７）による出願者

提出書類等	摘 要
編 入 学 願 書	本研究科所定の用紙
研 究 計 画 書	1, 0 0 0 字程度、A 4 判 1 ページ
推 薦 書	本研究科所定の用紙を用い、受入れ予定教員が作成したもの。 （ただし、推薦書を提出できない者は、受入れ予定教員の承諾書）
成 績 証 明 書	出身大学の学部長の発行するもの。
T O E F L ® T e s t 又は T O E I C ® Listening & Reading Test（以下、TOEIC®公開 テストと記載） スコアシートの <u>原本</u> 有効となる試験： TOEFL® Test PBT, TOEFL iBT® Test , TOEIC® 公開テスト	下記①または②に該当する出願者は提出してください。ただし、応用化学専攻、化学工学専攻、バイオ工学専攻、都市・建築学専攻を志願する者は提出不要です。 ① 一般選抜（編入学）または外国人留学生等特別選抜（編入学）で機械機能創成専攻、ファインメカニクス専攻、ロボティクス専攻、航空宇宙工学専攻、量子エネルギー工学専攻、電気エネルギーシステム専攻、通信工学専攻、電子工学専攻、応用物理学専攻、金属フロンティア工学専攻、知能デバイス材料学専攻、材料システム工学専攻、土木工学専攻、技術社会システム専攻を志願する者 ② 社会人特別選抜（編入学）で金属フロンティア工学専攻、知能デバイス材料学専攻、材料システム工学専攻を志願する者 <u>提出されたスコアシートは返却しません。</u> <u>ただし、TOEFL®Test [受験者用控えスコア票] に限り、出願時に申し出があれば試験当日返却します。</u> <u>TOEFL®Test（公式スコアレポート）を本研究科宛て直接送付する際のコードは「8958」です。</u>

	◆TOEFL®Test 及び第239回までの TOEIC®公開テストのスコアシートを提出する場合 ・スコアシートを含めたすべての出願書類を、「3 願書受付」に記載の受付期間内に提出してください。 ◆第240回または第241回 TOEIC®公開テストのスコアシートを提出する場合 ・スコアシートを除いたその他の出願書類を、「3 願書受付」に記載の受付期間内に提出してください。 ・スコアシートは、7月31日（水）【必着】までに「3 願書受付」に記載の受付場所に提出してください（土曜日・日曜日及び祝祭日は受付を行いません）。郵送により提出する場合は、任意の封筒に朱書きで「スコアシート在中」とし、送付してください。提出の際は、スコアシートの裏面に願した系・専攻を記入してください。 注 一度提出したスコアシートの差替え等は一切認めません。 例) 第239回 TOEIC® 公開テストのスコアシートを提出後、第240回または第241回 TOEIC®公開テストなど別のスコアシートを再提出することはできません。 注 願書受付期間外に提出できるスコアシートは、第240回または第241回 TOEIC®公開テストのスコアシートに限ります。 例) 第239回までの TOEIC®公開テストのスコアシートや TOEFL®Test のスコアシートを「3 願書受付」に記載の受付期間外に提出することはできません。 *受入予定教員の理由書（様式任意）をもって、スコアシートの提出免除、または願書受付期間外の第239回までの TOEIC®公開テストのスコアシート提出が認められる場合があります。 ※TOEFL, TOEFL iBT, TOEFL ITP および TOEIC はエデュケーション・テスト・サービス (ETS) の登録商標です。
卒業証明書又は学位授与証明書	出身大学の学部長又は大学改革支援・学位授与機構が発行するもの。
研究又は業務に従事した証明書	所属長が発行し、技術者・教員・研究者等として2年以上研究に従事したことを証明するもの。（社印等のあるもの・様式随意）
写真票・受験票	上半身無帽像で3か月以内に撮影した写真を写真票に貼ってください。
受験言語選択票	機械機能創成専攻，ファインメカニクス専攻，ロボティクス専攻，航空宇宙工学専攻，量子エネルギー工学専攻の志願者で外国人留学生等特別選抜（編入学）に志願する外国籍の方のみ提出してください。
検 定 料	30,000円（郵送の場合は、郵便局にて普通為替証書にし、指定受取人欄等は記入しないでください。） *災害の被災者に対する入学検定料の免除については、次のウェブサイトをご参照ください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/disaster.html *国費外国人留学生及び入学検定料免除申請者は納付不要です。

検 定 料 領 収 書	本研究科所定の用紙（２枚とも出願者氏名を記入してください。） ＊国費外国人留学生及び入学検定料免除申請者は提出不要です。
出 願 用 封 筒	本研究科所定の封筒の差出人欄を記入し、提出してください。
受 験 票 送 付 用 封 筒	本研究科所定の封筒に住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手 ９２円分を貼ってください。
合 否 通 知 用 封 筒	本研究科所定の封筒に住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手 ５３０円分を貼ってください。

〔注〕 一般選抜（編入学）志願者で、在職のまま編入学する者は、前記書類のほか、「受験受諾書（所属長の発行したもので、社印等のあるもの。様式随意。）」を提出してください。

社会人特別選抜（編入学）志願者及び外国人留学生等特別選抜（編入学）志願者は、前記書類のほか、それぞれ次の書類を提出してください。

◎ 社会人特別選抜（編入学）志願者

提出書類等	摘 要
在 職 証 明 書	在職期間、職務内容、身分を記載し、所属長の発行したもの。 （社印等のあるもの・様式任意） 在職のまま編入学する者は不要。
受 験 承 諾 書	在職期間、職務内容、身分を記載し、所属長の発行したもの。 ただし、在職のまま編入学する者に限ります。 （社印等のあるもの・様式任意）

◎ 外国人留学生等特別選抜（編入学）志願者

提出書類等	摘 要
推 薦 書	出身大学の指導教員又はそれに準ずる者が作成したもの。 （様式任意）
日 本 語 能 力 証 明 書	日本語教員・指導（予定）教員等が作成したもの。（様式任意）
受 験 承 諾 書	所属長の発行したもの。 ただし、在職（国内外問わず）のまま編入学する者に限ります。 （社印等のあるもの・様式任意）
そ の 他 参 考 資 料	学力を表す論文・報告書など。

〔IV〕 出願資格の（６），（８）による出願者は、出願書類等について事前に工学部・工学研究科教務課大学院教務係へ問い合わせてください。

5 選 抜 方 法 等

入学者の選抜は、筆答試験、小論文、口述試験、面接試験及び提出書類等を総合して判断します。

試験日時：令和元年８月２７日（火）から８月２９日（木）までの間に別表によって行います。

試験場所：東北大学大学院工学研究科（試験の詳細については、各専攻から本人あてに通知します。）

- ◎ 社会人特別選抜（編入学）志願者については、小論文、面接試問及び提出書類等を総合して選抜します。
- ◎ 外国人留学生等特別選抜（編入学）志願者については、筆答試験又は小論文、面接試問、語学力及び提出書類等を総合して選抜します。

6 合格者発表

令和元年9月9日（月）17時頃に東北大学工学研究科・工学部ウェブサイト（<https://www.eng.tohoku.ac.jp/>）に発表する予定です。

なお、入学志願者に対しては、選考結果通知を郵送で発送します。電話による問い合わせは回答できませんのでご了承ください。

7 入学手続等

- （1）入学手続は、9月19日（木）に実施の予定です。詳細については、令和元年9月上旬に入学手続書類を送付する際にお知らせします。

- （2）入学時の必要経費

編入学の場合

- ① 入 学 料 282,000円（予定額）
- ② 授業料後期分 267,900円（年額535,800円）（予定額）

進学の場合

- ① 入 学 料 本学大学院博士課程前期2年の課程、修士課程又は専門職学位課程を修了見込みの者は不要です。
- ② 授業料後期分 267,900円（年額535,800円）（予定額）

注1 上記の納付額は予定額であり、納付金の改定が行われた場合には、改定時から新しい納付金額が適用されます。

注2 入学料及び授業料の納付に関しては、令和元年9月上旬に送付する入学手続に関する書類でお知らせします。また、免除、徴収猶予等の手続きに関しては、東北大学のウェブサイト（<https://www.tohoku.ac.jp/>）にアクセスし、「東北大学で学びたい方へ」→「入学料及び授業料等免除」の順にクリックしてご覧ください。

8 長期履修学生制度の適用

本研究科では、職業を有している等の事情〔注1〕によって、標準修業年限である3年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了する〔注2〕ことを願い出た者については、審査の上許可することがあります。この制度の適用者は「長期履修学生」といい、当該学生の授業料支払総額は、標準修業年限による修了者と同額です。この制度に関する照会は随時受け付けますので、工学部・工学研究科教務課大学院教務係に問い合わせてください。

長期履修学生制度の適用を希望する者には、別途申請方法等についてお知らせしますので、進学・編入学願書の所定欄に忘れずにチェックを入れてください。なお、適用は進学・編入学時からとし、在学途中からの長期履修学生への変更はできません。

〔注１〕 該当者：① 企業等に勤務している者及び自ら事業を行っている者

② 出産・育児、介護等を行う必要がある者

③ その他、本研究科が適当と認める者（経済的な理由を除く。）

※ 原則として社会人特別選抜（編入学）合格者に限りませんが、その他の選抜を志願する者で、この制度の適用を希望する場合は工学部・工学研究科教務課大学院教務係に事前にご照会ください。

〔注２〕 在学年限は６年を超えることはできませんが、許可された在学年限の短縮を願い出ることはできます。

なお、長期履修学生のためのカリキュラムは、原則として特別に用意しません。

９ 個人情報 の 取 扱 い に つ い て

- （１） 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」に基づき厳密に取り扱い、個人情報保護に万全を期しています。
- （２） 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜、入学手続、追跡調査、入学後の学生支援関係（奨学、授業料免除及び健康管理等）及び修学指導等の教育目的並びに授業料徴収等の関係に利用します。
- （３） 入学後、教務関係の業務については、本学より業務委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）が行うことがあります。業務委託に当たっては、その必要性に応じて「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」に基づき、個人情報の全部又は一部を受託業者に提供します。

１０ 注 意 事 項

- （１） 願書郵送の場合は、出願用封筒を用い速達書留で郵送してください。

願書受理の通知は出しませんが、受理確認を希望する者は、あて名記載の郵便はがきを同封してください。

- （２） 出願書類及び検定料は返付しません。
- （３） 受験票が試験日１０日前になっても到着しない場合は、工学部・工学研究科教務課大学院教務係に問い合わせてください。
- （４） 募集事務に関することは、工学部・工学研究科教務課大学院教務係に問い合わせてください。

(5) 郵便で出願書類を請求する場合は、住所、氏名、郵便番号、必要な募集要項の種類（選抜区分）を明記し、郵便切手250円分を貼った返信用封筒（角形2号、約34cm×約24cm）を同封してください。

(6) 受験及び修学上の配慮を必要とする入学志願者のための相談を行っていますので、相談を希望する者は、次の事項を記載した申出書（様式任意）を提出してください。申出書の提出を理由として、合否判定の際に不利に扱われることはありません。

＊相談の期限：原則として令和元年6月3日（月）まで

＊申出書に記載する内容

- ① 志願者の氏名・住所・電話番号
- ② 出身大学等
- ③ 受験上配慮を希望する事項
- ④ 修学上配慮を希望する事項
- ⑤ これまで認められたことのある配慮の内容
- ⑥ 日常生活の状況
- ⑦ その他参考となる資料（現に治療中の者は、医師の診断書を添付）

(7) 本学では、外国為替及び外国貿易法に基づき、国立大学法人東北大学安全保障輸出管理規程を定め、外国人留学生等の受入れに際し審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究テーマに制約がかかる場合があります。

令和元年5月

東北大学大学院工学研究科

（工学部・工学研究科教務課大学院教務係）

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-04

電話（022）795-5820

別表（後期3年の課程：令和元年10月：一般選抜（進学），一般選抜（編入学），社会人特別選抜（編入学），外国人留学生等特別選抜（編入学））

専攻	選抜	試験科目	試験日時	試験内容	備考
機械・航空宇宙工学専攻	進学	専攻で別途選考する。			専攻照会先： 機械・知能系事務室教務担当 (TEL) 022 - 795 - 7030
	編入学，外国人留学生等	英語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL®TestまたはTOEIC®公開テストのスコアシートの原本を出願時に提出すること。英語を母語とする志願者は、個別に問い合わせること。	スコアシートの提出を免除された英語を母語とするネイティブの志願者を除き、願書受付期間内に、スコアシートの原本を提出できない場合は、出願を受理しない。（ただし、願書受付期間後に提出できる回のTOEIC®公開テストのスコアシートを提出する場合を除く。その場合でも、指定期日までに提出されなかった場合には、「不合格」とする。）
		数学 A (必答)	8月27日(火) 9時30分～11時00分 (集合時間 9時00分)	微積分，線形代数，ベクトル解析	(1) 成績証明書の内容によって、筆答試験を免除することがある。 (2) 各科目の出題範囲については専攻に照会するか、あるいは以下のホームページで確認すること。 http://www.mech.tohoku.ac.jp/
		数学 B (必答)	8月27日(火) 13時30分～15時00分	常微分方程式，偏微分方程式，フーリエ変換・級数，ラプラス変換	(3) 電卓および計算機能，通信機能のある時計や電話機などの持ち込みを認めない。 (4) 筆答試験で合格した者のみ面接試験を行う。筆答試験の可否発表方法と時間は試験初日に連絡する。
		専門科目 (選択)	8月28日(水) 9時00分～12時00分 (集合時間 8時30分)	熱力学，流体力学，材料力学，機械力学，制御工学 以上の5科目から2科目を選択	専攻照会先： 機械・知能系事務室教務担当 (TEL) 022 - 795 - 7030
		面接	8月29日(木) (集合時間は専攻より指示する)	修士論文等の内容および入学後の研究希望等	
	社会人	口頭試問等	8月28日(水) 又は 8月29日(木) (集合日時は専攻より指示する)	<研究発表および質疑応答(30分程度)> 修士論文等の研究内容を発表してもらい，その後質疑応答を行なう。 <口頭試問(20分程度)> 数学・専門科目に関する口頭試問を出題する。 ※数学の出題範囲は，筆答試験の数学A・数学Bの範囲と同じ。専門科目は，筆答試験の専門5科目（熱力学，流体力学，材料力学，機械力学，制御工学）の中からあらかじめ2科目を選択してもらい出題する。それらの出題範囲は筆答試験と同じ。	(1) 研究業績や研究歴等により，有資格者と認められた者については，口頭試問(20分程度)を免除し，研究発表および質疑応答を10分延長し，40分程度行なう。 免除条件の詳細および口頭試問(20分程度)の免除申請方法については受入予定教員に問い合わせること。 (2) 各科目の出題範囲については専攻に照会するか，あるいは以下のホームページで確認すること。 http://www.mech.tohoku.ac.jp/

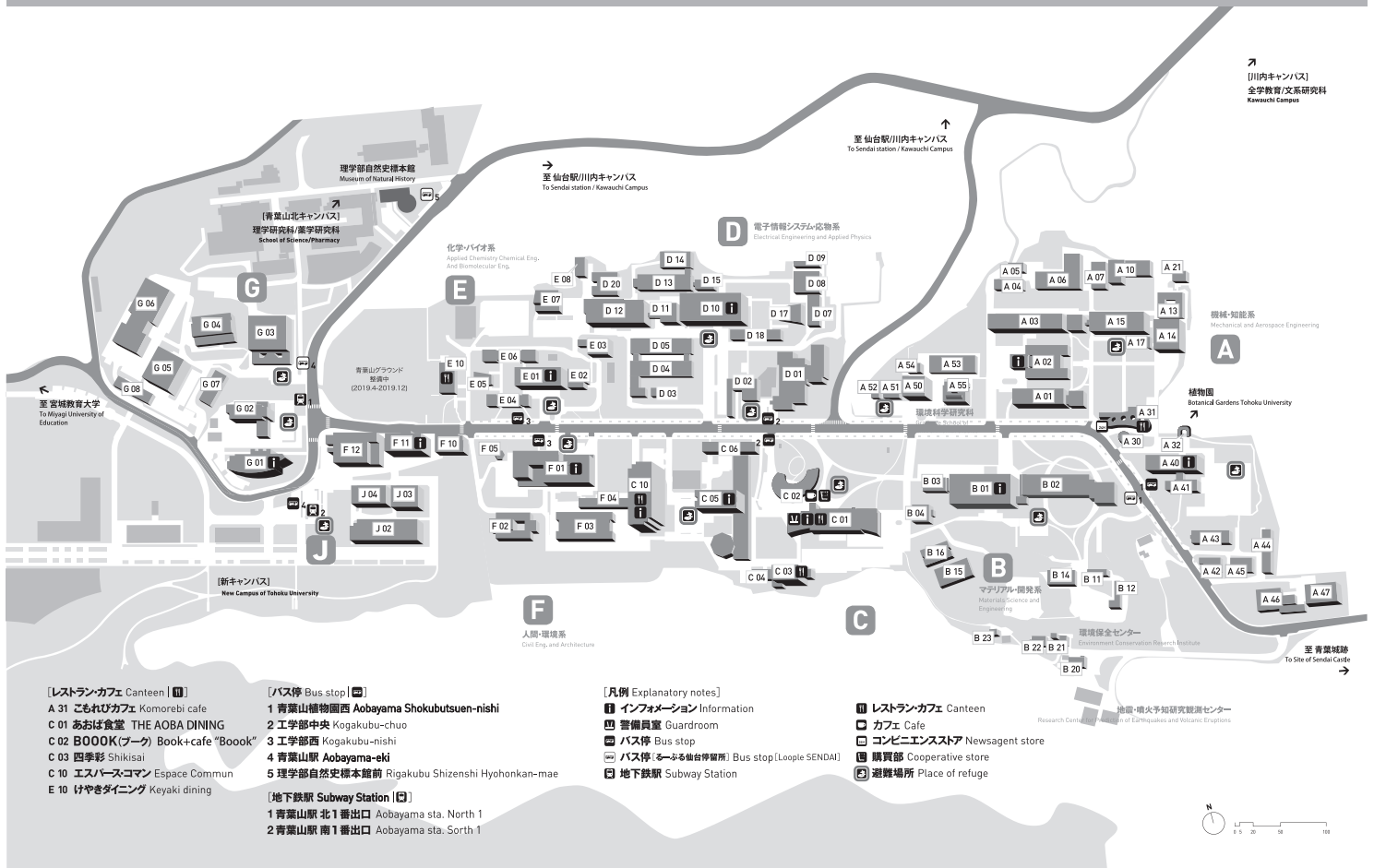
専 攻	選 抜	試験科目	試験日時	試験内容	備 考
量子エネルギー工学専攻	進 学	専攻で別途選考する。			専攻照会先： 機械・知能系事務室教務担当 (TEL) 022 - 795 - 7030
	編入学、外国人留学生等	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL®TestまたはTOEIC®公開テストのスコアシートの原本を出願時に提出すること。英語を母語とする志願者は、個別に問い合わせること。	スコアシートの提出を免除された英語を母語とするネイティブの志願者を除き、願書受付期間内に、スコアシートの原本を提出できない場合は、出願を受理しない。(ただし、願書受付期間後に提出できる回のTOEIC®公開テストのスコアシートを提出する場合を除く。その場合でも、指定期日までに提出されなかった場合には、「不合格」とする。)
		数 学 A (必答)	8月27日(火) 9時30分～11時00分 (集合時間 9時00分)	微積分、線形代数、ベクトル解析	(1) 成績証明書の内容によって、筆答試験を免除することがある。 (2) 各科目の出題範囲については専攻に照会するか、あるいは以下のホームページで確認すること。 http://www.qse.tohoku.ac.jp/
		数 学 B (必答)	8月27日(火) 13時30分～15時00分	常微分方程式、偏微分方程式、フーリエ変換・級数、ラプラス変換	(3) 電卓および計算機能、通信機能のある時計や電話機などの持ち込みを認めない。 (4) 筆答試験で合格した者のみ面接試験を行う。筆答試験の可否発表方法と時間は試験初日に連絡する。
		専門科目 (選択)	8月28日(水) 9時00分～12時00分 (集合時間 8時30分)	熱力学、流体力学、材料力学、機械力学、制御工学、材料物性学、電磁気学、量子力学以上の8科目から2科目を選択	専攻照会先： 機械・知能系事務室教務担当 (TEL) 022 - 795 - 7030
		面 接	8月29日(木) (集合時間は専攻より指示する)	修士論文等の内容および入学後の研究希望等	
	社会人	口頭試問等	8月28日(水) 又は 8月29日(木) (集合日時は専攻より指示する)	<研究発表および質疑応答(30分程度)> 修士論文等の研究内容を発表してもらい、その後質疑応答を行なう。 <口頭試問(20分程度)> 数学・専門科目に関する口頭試問を出題する。 ※数学の出題範囲は、筆答試験の数学A・数学Bの範囲と同じ。専門科目は、筆答試験の専門8科目(熱力学、流体力学、材料力学、機械力学、制御工学、材料物性学、電磁気学、量子力学)の中からあらかじめ2科目を選択してもらい出題する。それらの出題範囲は筆答試験と同じ。	(1) 研究業績や研究歴等により、有資格者と認められた者については、口頭試問(20分程度)を免除し、研究発表および質疑応答を10分延長し、40分程度行なう。 免除条件の詳細および口頭試問(20分程度)の免除申請方法については受入予定教員に問い合わせること。 (2) 各科目の出題範囲については専攻に照会するか、あるいは以下のホームページで確認すること。 http://www.qse.tohoku.ac.jp/ 詳細は専攻に問い合わせること。 専攻照会先： 機械・知能系事務室教務担当 (TEL) 022 - 795 - 7030

専 攻	選 抜	試験科目	試験日時	試験内容	備 考
電 通 電 気 エ ネ ル ギ ー シ ス テ ム 専 攻	進 学	専攻で別途選考する。			
	編 入 学	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL®TestまたはTOEIC®公開テストのスコアシートの原本を出願時に提出すること。	(1) 成績証明書の内容によっては、筆答試験及び面接試験を免除することがある。 (2) 各科目の出題範囲については専攻に照会するか、あるいは以下のホームページで確認すること。 http://www.ecei.tohoku.ac.jp/ecei_web/admission/exam_subject.html (3) 電卓および計算機能、通信機能のある時計や電話機などの使用を認めない。 専攻照会先： 電子情報システム・応物系事務室 教務担当(TEL 022-795-7186)
		基 礎 科 目	8月27日(火) 9時30分～11時30分 (集合時間 9:00)	電磁気学、電気回路、情報基礎1、情報基礎2、物理基礎、数学基礎の6題から2題選択。	
		面 接	8月28日(水)又は 8月29日(木) (専攻より指示する)	出身大学で受けた教育の内容又は修士論文(作成中含む)、及び入学後の研究希望について20分程度で発表。資料を3部持参のこと。	
	社 会 人	面 接	8月28日(水)又は 8月29日(木) (専攻より指示する)	これまでの研究の内容及び入学後の研究希望等について20分程度で発表。資料を3部持参のこと。	
	外 国 人 留 学 生 等	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL®TestまたはTOEIC®公開テストのスコアシートの原本を出願時に提出すること。	(1) 成績証明書の内容によっては、筆答試験及び面接試験を免除することがある。 (2) 各科目の出題範囲については、専攻に照会するか、あるいは以下のホームページで確認すること。 http://www.ecei.tohoku.ac.jp/ (3) 電卓および計算機能、通信機能のある時計や電話機などの使用を認めない。 専攻照会先： 電子情報システム・応物系事務室 教務担当(TEL 022-795-7186)
		基 礎 科 目	8月27日(火) 9時30分～11時30分 (集合時間 9:00)	電磁気学、電気回路、情報基礎1、情報基礎2、物理基礎、数学基礎の6題から2題選択。	
		面 接	8月28日(水)又は 8月29日(木) (専攻より指示する)	出身大学で受けた教育の内容又は修士論文(作成中含む)、及び入学後の研究希望について20分程度で発表。資料を3部持参のこと。 同時に日本語能力についても判定する。	
	応 用 物 理 学 専 攻	進 学	専攻で別途選考する。		
編 入 学		英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL®TestまたはTOEIC®公開テストのスコアシートの原本を出願時に提出すること。	注1) 受験生の指導教員予定者が予め指定した科目を出題する。出題しない場合もある。 電卓および計算機能、通信機能のある時計や電話機などの使用を認めない。 専攻照会先： 電子情報システム・応物系事務室 教務担当(TEL 022-795-7186)
		基 礎 科 目	8月27日(火) 10時00分～11時30分	量子力学、力学、物理数学(微分方程式、ベクトル解析、フーリエ級数・変換、ラプラス変換)の3問より2問選択。	
		専 門 科 目	8月27日(火) 13時00分～14時30分	電磁気学(静電気、静磁気、電磁誘導)、統計力学、物性物理、物理実験・計測および特別専門科目 ^{注1)} の計4ないし5問より2問選択。	
		専 門 面 接 試 問	8月27日(火) 15時30分～	修士論文の概要発表25分、および口頭試問。	
		面 接	8月28日(水) 9時00分～	修士論文の概要発表10分、および口頭試問。	
社 会 人		面 接	8月28日(水) 9時00分～	研究発表10分、および口頭試問。英語の能力を問う場合もある。	入試以前(8月下旬)に専門面接試問を行う。
外 国 人 留 学 生 等		英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL®TestまたはTOEIC®公開テストのスコアシートの原本を出願時に提出すること。(英語を母語とする学生は個別に問い合わせること。)	有資格者と認められた外国人留学生には筆答試験を免ずる。 入試以前(8月下旬)に専門面接試問を行う。 注1) 受験生の指導教員予定者が予め指定した科目を出題する。出題しない場合もある。 電卓および計算機能、通信機能のある時計や電話機などの使用を認めない。 専攻照会先： 電子情報システム・応物系事務室 教務担当(TEL 022-795-7186)
		基 礎 科 目	8月27日(火) 10時00分～11時30分	量子力学、力学、物理数学(微分方程式、ベクトル解析、フーリエ級数・変換、ラプラス変換)の3問より2問選択。必要に応じて英訳を付す。	
		専 門 科 目	8月27日(火) 13時00分～14時30分	電磁気学(静電気、静磁気、電磁誘導)、統計力学、物性物理、物理実験・計測および特別専門科目 ^{注1)} の計4ないし5問より2問選択。必要に応じて英訳を付す。	
	面 接	8月28日(水) 9時00分～	研究発表10分、および口頭試問。		

専 攻	選 抜	試験科目	試験日時	試験内容	備 考
応 化 バ 用 学 イ 化 工 オ 学 学 工 専 専 専 攻 攻 攻	進 学	専攻で別途選考する。			専攻照会先： 化学・バイオ系事務室教務担当 TEL022-795-7205 専攻ホームページ： http://www.che.tohoku.ac.jp/index-j.html
	編 入 学	専 門 科 目	8 月 27 日 (火) 9 時 00 分～11 時 30 分	無機・物理化学, 有機化学, 生物化学, 化学工学の 4 分野より各 2 題の計 8 題の中から 3 題選択	
		英 語	8 月 27 日 (火) 13 時 00 分～14 時 00 分		
		面 接 試 問	8 月 27 日 (火) 15 時 00 分～	修士論文の概要発表及び口頭試問	
	社 会 人	面 接 試 問	8 月 28 日 (水) 9 時 30 分～	研究発表及び口頭試問	
	外 国 人 留 学 生 等	基 礎 科 目	8 月 27 日 (火) 9 時 00 分～10 時 30 分	基礎Ⅰ (無機化学, 分析化学, 物理化学), 基礎Ⅱ (有機化学), 数学の 3 題の中から 1 題選択	
		専 門 科 目		受験者の専門分野	
面 接 試 問		8 月 27 日 (火) 11 時 00 分～	修士論文の概要発表及び口頭試問		
金 知 材 属 能 料 フ デ シ ロ バ イ ン テ ス テ ィ ャ 工 材 工 学 学 学 専 専 専 攻 攻 攻	進 学	専攻で別途選考する。			(1) 本学前期課程修了者については英語を免除することがある。 (2) 日程等については個別に連絡する。 (3) 提出されたスコアシートは原則返却しない。ただし, TOEFL [受験者用控えスコア票] に限り, 出願時に申し出があれば試験当日に返却する。 (4) 対象となる TOEFL®Test 及び TOEIC®公開テストの種類等詳細については以下のホームページで確認すること。 http://www.material.tohoku.ac.jp/admission/index.html *詳細については材料科学系専攻長 (TEL 022 - 795 - 7342) または事務室教務担当 (TEL 022 - 795 - 7373) に問い合わせること。
	編 入 学	英 語		入学試験実施日から過去 2 年以内に受験した TOEFL®Test または TOEIC®公開テストスコアシートの原本を出願時に提出すること。	
		一 般 専 門 試 験	8 月 27 日 (火) ～ 8 月 29 日 (木) 40 分	物理, 化学, 材料化学, 材料物性, 材料加工について口頭試問	
		特 定 専 門 試 験	8 月 27 日 (火) ～ 8 月 29 日 (木) 40 分	修士論文あるいは修士課程修了後に行った研究について口頭発表	
	社 会 人	英 語		入学試験実施日から過去 2 年以内に受験した TOEFL®Test または TOEIC®公開テストスコアシートの原本を出願時に提出すること。	
		一 般 専 門 試 験	8 月 27 日 (火) ～ 8 月 29 日 (木) 40 分	物理, 化学, 材料化学, 材料物性, 材料加工について口頭試問	
		特 定 専 門 試 験	8 月 27 日 (火) ～ 8 月 29 日 (木) 40 分	これまでの研究あるいは修士論文について口頭発表	
	外 国 人 留 学 生 等	英 語		入学試験実施日から過去 2 年以内に受験した TOEFL®Test または TOEIC®公開テストスコアシートの原本を出願時に提出すること。	
		一 般 専 門 試 験	8 月 27 日 (火) ～ 8 月 29 日 (木) 40 分	物理, 化学, 材料化学, 材料物性, 材料加工について口頭試問	
		特 定 専 門 試 験	8 月 27 日 (火) ～ 8 月 29 日 (木) 40 分	これまでの研究あるいは修士論文について口頭発表 (日本語あるいは英語)	

専 攻	選 抜	試験科目	試験日時	試験内容	備 考
土 木 工 学 専 攻	進 学	面 接	8月28日(水)		(1) 外国人留学生等特別選抜試験の専門科目の出題科目と科目別出題数は受入れ予定教員に照会すること。 (2) 電卓・辞書および計算機能や通信機能のある時計の使用は認めない。 (3) 口述試験・面接の日時・場所、試験時の注意事項等は専攻から通知する。 (4) 詳細は専攻に照会すること。 専攻照会先 人間・環境系事務室教務担当 TEL022-795-7489
	編 入 学	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test または TOEIC®公開テストスコアシートの原本を出願時に提出すること。	
		口 述 試 験	8月27日(火)	修士論文(現在作成中のものを含む)の内容を15分以内で発表(PC使用可)。発表の内容について試問する。	
		面 接	8月27日(火)		
	社 会 人	小 論 文	8月27日(火) 9時30分～11時00分	土木工学関連のテーマ	
		口 述 試 験	8月27日(火)	勤務先での研究又は業務の内容を15分以内で発表(PC使用可)。発表の内容について試問する。	
		面 接	8月27日(火)		
	外 国 人 留 学 生 等	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test または TOEIC®公開テストスコアシートの原本を出願時に提出すること。	
		口 述 試 験	8月27日(火)	修士論文(現在作成中のものを含む)の内容を15分以内で発表(PC使用可)。発表の内容について試問する。	
		専 門 科 目	8月27日(火) 14時30分～16時30分	出願者のバックグラウンド・専門分野・研究計画を考慮して出題される4問から3問を選択。 以下の8科目から受入れ予定教員が1～4科目を選定し、選定した科目の中から計4問を出題。 数学(微分積分、線形代数、確率統計)、弾性体と構造の力学、地盤とコンクリート、水理学、水質と環境、生物と生態、交通、計画数理解	
		面 接	8月27日(火) 又は 8月29日(水)		
都 市 ・ 建 築 学 専 攻	進 学	書 類 審 査	8月27日(火) 又は 8月28日(水)	研究計画	(1) 口述試験・面接の日時・場所は専攻から通知する。 (2) 試験に加えて、課題提出を求めることがある。 (3) 詳細については専攻に照会すること。 専攻照会先 人間・環境系事務室教務担当 TEL022-795-7489
		面 接	8月27日(火) 又は 8月28日(水)		
	編 入 学	口 述 試 験	8月27日(火) 又は 8月28日(水)	修士論文(現在作成中のものを含む)あるいはそれに相当するもの、及び研究計画の内容を発表(PC使用可)。発表の内容について試問する。	
		面 接	8月27日(火) 又は 8月28日(水)	口述試験と同時に行う。	
	社 会 人	口 述 試 験	8月27日(火) 又は 8月28日(水)	研究計画の内容を発表(PC使用可)。発表の内容について試問する。	
		面 接	8月27日(火) 又は 8月28日(水)	口述試験と同時に行う。	
	外 国 人 留 学 生 等	口 述 試 験	8月27日(火) 又は 8月28日(水)	修士論文(現在作成中のものを含む)あるいはそれに相当するもの、及び研究計画の内容を発表(PC使用可)。発表の内容について試問する。	
		面 接	8月27日(火) 又は 8月28日(水)	口述試験と同時に行う。	

専 攻	選 抜	試験科目	試験日時	試験内容	備 考
技術社会システム専攻	進 学	専攻で別途選考する。			
	編入学，外国人留学生等	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL®Test または TOEIC®公開テストのスコアシートの 原本を出願時に提出すること。	口頭試問の日時・場所は専攻より別途通知する。 専攻照会先： 事務室 TEL 022-795-3863 専攻ホームページ： http://www.most.tohoku.ac.jp
		小 論 文	8月27日(火) 13時00分～15時00分	技術と社会に関連する論述文をまとめる。	
		口頭試問	8月28日(水) 9時00分～ 又は 8月29日(木) 9時00分～	これまでの研究及び入学後の研究計画を発表。発表の内容を含めて試問する。	
	社会人	口頭試問	8月28日(水) 9時00分～ 又は 8月29日(木) 9時00分～	これまでの研究及び入学後の研究計画を発表。発表の内容を含めて試問する。	口頭試問の日時・場所は専攻より別途通知する。 専攻照会先： 事務室 TEL 022-795-3863 専攻ホームページ： http://www.most.tohoku.ac.jp


機械・知能系 Mechanical and Aerospace Engineering

- A 01 機械系 1号館 [M1] 1F**
- Research Building No.1 - M-1 E

A 03 機械系 2号館 [M2] 1F
- Research Building No.2 - M-1 E

A 02 機械系 講義棟 1F
- Lecture Room Building - M-E

A 05 機械系 実験棟 I [M-I]

A 04 機械系 実験棟 J [M-J]
- Research Laboratory I to J - M-E

A 06 機械系 実験研究棟
- Mechanical Engineering Laboratory Building

**A 07 機械・知能系 教育実験棟・
高機能試作センター**
- Laboratories for Students - M-A-E
- Nano-Precision Machining Shop

A 15 機械・知能系 共同棟 1F
- Research Building - M-A-E

A 10 機械系環境材料強度研究棟
- Environmental Strength Research Laboratory-M-E

**A 14 マイクロ・ナノマシンニング
研究教育センター
マイクログラフィ棟**
- Micromachining Facility
- Micro/Nano-Machining Research and Education Center

**A 17 マイクロ・ナノマシンニング
研究教育センター
ナノマシンニング棟**
- Nanomachining Facility

A 13 ナメ工医学実験棟
- Nano-Biomedical Engineering Research Building

A 21 ナメ工医学実験棟
- Nano-Biomedical Engineering Research Laboratory

環境科学研究科
Graduate School of Environmental Studies

A 50 研究棟 [講義棟] 1F

A 51 研究棟 (講義室) Research Building(Lecture Room)

A 52 地盤環境強度特別実験室
- Geoscience Research Laboratory

A 53 実験棟 Research Laboratory

A 54 研究棟アネックス Annex

A 55 エコラボ EcoLab

A 30 自動車の過去・未来館
- Automobile Museum

A 31 デイリヤマザキこども遊びカプ[30F]
- Daily Yamazaki, Komorebi Cafe

A 32 青葉山植物園 Gate
- Botanical Gardens Tohoku University Aobayama Gate

M-E: Mechanical Engineering
M-A-E: Mechanical and Aerospace Engineering

A 40 量子エネルギー工学専攻 本館 Research Building - Quantum Science and Energy Engineering [1] 2F

A 41 量子エネルギー工学専攻 講義棟 Lecture Room Building

A 42 生活環境早期復旧技術研究センター 研究棟
- Research building of research center for remediation engineering of living environments contaminated with radionuclides

A 43 放射性同位元素実験室 Radiotope Laboratory

A 44 先進核融合炉工学科総合実験棟 Integrated Laboratory for Advanced Fusion Reactor Engineering

A 45 生活環境早期復旧技術研究センター 実験棟
- Laboratory building of research center for remediation engineering of living environments contaminated with radionuclides

A 46 高速中性子実験室 Fast Neutron Laboratory

A 47 臨界未満実験装置室 (量子エネルギー科学館) Subcritical Assembly 1F

B マテリアル・開発系 Materials Science and Engineering

- B 01 マテリアル・開発系 教育研究棟 Education and Research Building 11 〇
 - B 02 マテリアル・開発系 材料実験棟 The Materials Experiments Building 12 〇
 - B 03 大講義棟 Lecture Hall
 - B 04 マテリアル・共同研究棟 Materials Collaborative Research Building
 - B 11 革新材料研究棟 Materials Evolution Research Building
 - B 12 マテリアル・開発系 実験・研究棟 Research & Machining Building
 - B 14 教育研究基盤支援棟 17 [M5] Education and Research Base Support Building 17
 - B 15 教育研究基盤支援棟 14 [M2] Education and Research Base Support Building 14
 - B 16 教育研究基盤支援棟 13 [M1] Education and Research Base Support Building 13
- 環境保全センター Environmental Conservation Research Institute
- B 20 実験廃液処理室
 - B 21 実験研究棟 12
 - B 22 分析棟
 - B 23 教員棟

 センタースクエア Centersquare

- C 01 中央楼 CENTRAL HALL 田口
- あおば食堂 AOBA DINING 田口
- C 02 BBOOK(ブーク) Book+caf'e 'BOOK' 田口
- C 03 青葉記念館 Aoba Memorial Hall 田口
- C 04 青葉山会館 Aobayama Hall 田口
- C 05 工学部管理棟(工学研究科) 田口
- サイエンスキャンパスホール
Administration Office・School of Engineering (Graduate School of Biomedical Engineering)
Science Campus Hall
- C 06 ハッチェリースクエア Hatchery Square
- C 07 総合研究棟(技術社会システム専攻 他) Engineering Laboratory Complex Building 田口

D 01 附属図書館 工学分館 Engineering Library | 心

- 電子情報システム応用系 Electrical Engineering and Applied Physics
- D 03 磁気共鳴電波実験室 Research Room for Magnetic Resonance and Radio Wave
- D 04 南実験棟2 2 South Research Laboratory No.2
- D 05 南実験棟1 1 South Research Laboratory No.1
- D 06 教育研究基盤支援棟10 [E5] Education and Research Base Support Building 10
- D 07 教育研究基盤支援棟11 [E6] Education and Research Base Support Building 11
- D 08 教育研究基盤支援棟12 [E7] Education and Research Base Support Building 12
- D 10 電子情報システム応用系1号館 Electrical, Information and Physics Engineering Building No.1 [E] 1号館別館 Building No.1 Annex
- D 12 2号館 Research Building No.2 [E]
- D 13 北実験棟 North Research Laboratory
- D 14 北研究棟 North Research Building
- D 15 特殊電磁界実験室 Research Room for Peculiar Electromagnetic Field
- D 17 大講義棟 Main Lecture Hall
- D 18 南講義棟 South Lecture Room Building
- D 20 教育研究基盤支援棟7 [E2] Education and Research Base Support Building 7

E 化学・バイオ系 Applied Chemistry, Chemical Engineering and Biomolecular Engineering

- E 01 化学・バイオ系研究棟 Research Building - Main 
- E 02 研究棟分館 Research Building - Annex
- E 03 第二研究棟 Research Building No.2
- E 04 講義棟 Lecture Room Building
- E 05 大講義棟 Lecture Hall
- E 06 実験棟 Laboratories for Students
- E 08 超臨界溶媒工学研究棟 Supercritical Fluid Research Laboratory
- E 07 総合実験棟 Complex Building of Student Research Laboratories
- E 10 けやきダニング KEYAKI DINING - Experimental Restaurant 

F 人間・環境系 Civil Engineering and Architecture

- F 01 人間・環境系 教育研究棟 Civil Engineering and Architecture 100
F 02 建築実験棟 Laboratory Building of Architecture and Building Science II
F 03 社会環境工学実習棟 Building Building of Civil and Environmental Engineering
F 04 教育研究基盤支援棟 19 (A1) Education and Research Base Support Building 19
F 05 建築CLTモデル実証棟 CLT Demonstration Building

F 10 東北大学連携ビジネスインキュベータ(T-Biz)
- T-Biz (Business Incubator collaborated with Tohoku University)

F 11 未来科学技術共同研究センター 本館 New Industry Creation Hatchery Center
F 12 未来情報産業研究館 Fluctuation Free Building for New Information Industry 100

G 01 情報科学研究科 Graduate School of Information Sciences | 15

- G 02 電気・情報工学系 物理系 工学 工学
- Research Building No.3 - Electrical Engineering and Applied Physics
G 03 青葉山体育館 Aobayama Gymnasium | 空
G 04 建築実験棟 Laboratory of Architecture and Building Science | 空
G 05 サイバーサイエンスセンター Cyberscience Center | 空
G 06 学際科学フロンティア研究所 | 空
- Frontier Research Institute for Interdisciplinary Sciences
G 07 教育研究基盤支援棟 6 | E1 | Education and Research Base Support Building 6
G 08 サイバーサイエンスセンター 2号館 Cyberscience Center

J 02 レアメタル総合棟

- J 04 未来産業技術共同研究館**
Innovation Center for Creation of a Resilient Society

所在地 〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-04
アクセス 仙台市地下鉄東西線：仙台駅から八木山動物公園
 行きに乗車し、青葉山駅で下車（所要時間約9分、
 運賃250円）
 北1番出口又は南1番出口から徒歩約10分～15分
タクシー：仙台駅西口から乗車。運賃は1,800円